

●名称

文豪の住まいと雑木林のある蘆花恒春園

●住所 世田谷区粕谷一丁目20番1号

●位置図



●地域風景資産の特徴

「晴耕雨読」で知られる小説家・徳富蘆花が晩年を過ごした茅葺きの自邸を中心に、雑木林や竹林など、世田谷の原風景を今も感じさせる風景である。東京都指定史跡でもある、徳富蘆花旧宅（梅花書屋）では、現在、公園事務所とボランティア団体が連携したコンサートも行われている。



●地域風景資産の選定の背景等

徳富蘆花という歴史的な人物がかつてここに住み、それが当時の姿で残されているという空間的価値に加え、東京都指定史跡という一定の使命を担いながらも、屋外博物館的な残し方ではなく、活用することで更に風景の魅力や価値を伝えていきたいという、活動による価値の広がり期待される。

●備考